

執筆者紹介

佐藤 公彦 Sato Kimihiko

一九四九年生まれ。東京外国語大学外国語学部教授。中国近代史（義和団研究）。『義和団の起源とその運動—中国民衆ナショナリズムの誕生』、『氷点』事件と歴史教科書論争』、『二八九五年の古田教案』

武内 房司 Takemuchi Fusaji

一九五六年生まれ。学習院大学文学部史学学科教授。中国近代史、西南中国地域研究。

渡辺 祐子 Watanabe Yuko

一九六四年生まれ。明治学院大学教養教育センター准教授。中国近代キリスト教史。「中国プロテスタント伝道研究の視角」『清末民初における公教育とキリスト教学校—国民形成とキリスト教教育』『清末揚州教案』

牧野 元紀 Makino Moonori

一九七四年生まれ。国立公文書館アジア歴史資料センター調査員。ベトナム史。「パリ外国宣教会のベトナム宣教とカテキスター—一八世紀末から一九世紀前半におけるトンキンのキリスト教社会」『西山政権』下におけるパリ

外国宣教会西トンキン代牧区—一七八八—一八〇二』『パリ外国宣教会西トンキン代牧区における布教言語』

岡本 亨へ Okamoto Sae

一九四一年生まれ。元東京大学東洋文化研究所教授。比較文化。『清代禁書の研究』『近世中国の比較思想』『アジアの比較文化』(編著)

塩山 正純 Shiyama Masazumi

一九七二年生まれ。愛知大学国際コミュニケーション学部准教授。中国語学。「初期中国語訳聖書の系譜に関する研究」

李 爽学 Li Shuangxue

一九五六年生まれ。台湾中央研究院中国文哲研究所副研究員。比較文学。『中国晚明與歐洲文学—明末耶穌会古典型証道故事考證』

二好 千春 Miyoshi Chiharu

一九六五年生まれ。南山大学人文学部准教授。東アジアキリスト教史。「燕行使のロシア認識—バルトロメ・テ・ラス・カサス—彼のインディオおよびインディアスの現実に対する認識を中心に」『暦と天主教—北京のイエズス会士に関する燕行使情報』

松本 ますみ Matsumoto Masumi

一九五七年生まれ。敬和学園大学人文学部教授。中国近現代史、中国イスラーム史、イスラームとジェンダー。『中国民族政策の研究』『現代イスラーム思想と政治運動』(共著)

倉田 明子 Kurata Aiko

一九七六年生まれ。東京大学大学院総合文化研究科博士課程。中国近代史。「洪仁玕とキリスト教—香港滞在期の洪仁玕—」『資政新篇』の実像—刊行にいたるまでの修正過程と内容の改編—「早期港滬伝教士活動与基督教連繫—以英華書院和墨海書館為例」

石川 照子 Ishikawa Teruko

一九五七年生まれ。大妻女子大学比較文化学部准教授。中国近現代史。『中国女性の一〇〇年—史料にみる歩み』(編著)『戦時上海—一九三七—四五年』(共著)『民国後期中国国民党政権の研究』(共著)

宮坂 弥代生 Miyasaka Yayoi

一九六九年生まれ。明治学院大学非常勤講師。近代東アジア活版印刷史。「美華書館六十年史」(翻訳)『近代日本における宣教師と印刷—キリスト教宣教師の手紙から—』

石田 卓生 Ishida Takao

一九七三年生まれ。愛知大学東亜同文書院大学院記念センターリサーチ・アシスタント。中国近現代文学、満州国文学。「外務省文書があきらかにする大内隆雄伝の一節」「東亜同文書院高昌廟桂墅里校舎について」「芸文志」と満日文化協会」

田島 英一 Tajima Eichi

一九六二年生まれ。慶應義塾大学総合政策学部教授。中国地域研究。「中国人」という生き方」「上海―大陸精神と海洋精神の融合点」「弄ばれるナショナリズム―日中が見ている幻影」

王 硯農 Wang Yannaong

元愛知大学現代中国学部教授。中国語表現。「漢語常用動詞搭配詞典」「漢語動詞―結果補語搭載配詞典」「漫談 中国の結果補語」

崔 永華 Cui Yonghua

一九四八年生まれ。北京語言大学教授。漢語語言学、漢語教学。「対外漢語教学的教学研究」

鄭 天剛 Zheng Tiangang

一九五三年生まれ。南開大学漢語言文化学院

教授。対外漢語教学。「金瓶梅探心録」「有定形式和無形式的語用功能」「太D。短語和程度常態」

劉 柏林 Liu Bailing

一九五二年生まれ。愛知大学現代中国学部教授。中日文化と中日言語の比較。「実用日本語二〇一句」「中国語の『麻煩』とそれに対応する日本語の表現について」「中国語と日本語の色彩語の連想と象徴について」「社会の変遷と言語の変化―新語に見られる呼称語」

張 玉玲 Zhang Yuling

一九七五年生まれ。南山大学非常勤講師。文化象論、華僑・華人研究。「在日華僑の『中国文化』観と華僑文化の創出―横浜華僑の文化復興運動とエスニック・パウンドリーの再定位」「ミクロな視点から見る在日華僑のアイデンティティの形成過程」

田宮 昌子 Tamiya Masako

一九六一一年生まれ。宮崎公立大学人文学部准教授。中国文化論。「悲憤慷慨の系譜―中国とは何かを問う試み」「王逸『楚辭章句』屈賦注における「離騷」テーマの展開」「テクストとしての王逸『楚辭章句』―その問題点」

杉浦 康之 Sugiyama Yasuyuki

一九七七年生まれ。慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程。現代中国政治外交(史)、戦後東アジア国際政治史。「中国の『日本中立化』政策と対日情勢認識―岸信介内閣の成立から「岸批判」展開まで」

木島 史雄 Kishima Fumio

一九六一一年生まれ。愛知大学現代中国学部准教授。中国古典学。「古典における字體の役割―『尚書』隸古定字のかたるもの」「正始石經―蹉跎の構造―遡源から注釋へ」「拓本小論―複製装置か變換装置か」

馬場 毅 Bana Takashi

一九四四年生まれ。愛知大学現代中国学部准部長。中国近代史。「近代中国華北民衆と紅槍会」「秘密社会と国家」「共著」「中国八路軍、新四軍史」(共著)